

2016年度 長期在外研究（特例）活動報告

平田大輔（文学部）

3月31日（木）～4月30日

出発は28日の予定であったが、visaの発給が遅れ31日の出発、4月1日（金）ブリスベンに到着。生活環境が整った11日（月）より大学へ。

The University of Queensland(UQ)はオーストラリア・クイーンズランド州、ブリスベンにあり、世界大学ランキングで上位100校以内に常にランクインしている大学です。またUQには、142カ国からの11,500名を超える留学生を含む48,000名以上の多様な学生が集まり、学問、スポーツ、社会活動をサポートする施設を整えたキャンパス3カ所があります。

私が所属する学部はSchool of Human Movement and Nutrition Sciences(HMNS)で、受け入れ先のProfessor Cliff Mallettはスポーツ心理学・コーチング学が専門です。指導者の時には多くのエリート選手（リレーチーム）を輩出しています（<http://www.hms.uq.edu.au/our-staff/academic-staff/cliff-mallett-phd/>）。



クリフマレット教授と



研究棟

また、この所属長であるProfessor Andrew Cresswellは佐藤雅幸所員がスウェーデン・カロリンスカ研究所に在外研究で行かれた時のスタッフになります（<http://www.hms.uq.edu.au/our-staff/academic-staff/andrew-cresswell-head-of-school/>）。挨拶はしましたが、写真を撮り忘れましたので次回の報告で掲載します。

11日に大学に行ってからにはスポーツコーチング理論、演習とスポーツ心理学の授業に参加しています。特に理論を学んでから実際に演習を行っているところはとてもわかりやすく参考になりました。演習に関してはテニスという運動を通して、授業を展開をしていたので私も参加しています。このスポーツコーチングは、タームの前半はスポーツ心理学の面から、後半は教育学の面から展開になります。



スポーツコーチング演習 授業風景1

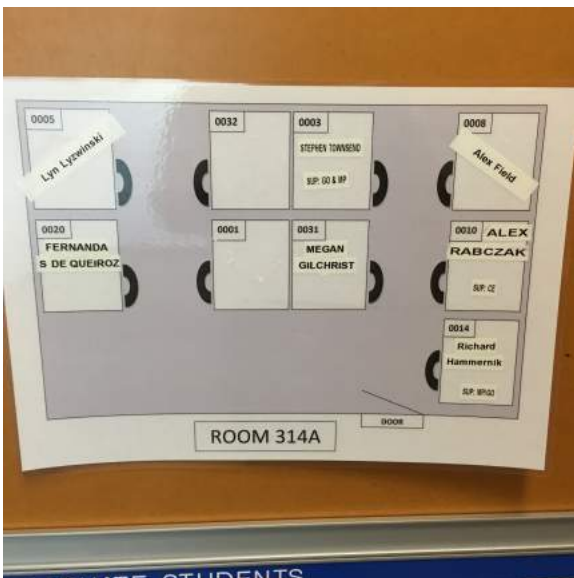


スポーツコーチング演習 授業風景 2



スポーツコーチング理論 授業風景

演習の授業の際にはテニスの指導に関してはテニスコーチが付き、SAと教員の3名で展開しています。



POSTGRADUATE STUDENTS ROOM
こちらの机 (0001)を使っています。



スポーツ心理学 授業

Joseはラグビーのコーチングの勉強をしながらポルトガルから来ています。彼にはかなりお世話になっています。

その他、学部生の学会発表前の発表会に参加したり、コーチング研究のミーティングに参加したりと充実した1か月間でした。

施設や組織に関しては次回、報告します。

